

木のかんたん検知液A

1、調べたい木の枝の切断面、裂き面、あるいは、幹の切断面の樹液が通るところならどこでもその樹液に検知液Aを直接1、2滴付ける。
(樹液が出ずに乾いている場合は判定できない。気温が20℃以上のときにお使い下さい。)



2、検知液Aを塗った2分後、赤色変化があるか否かで判定する。



枝の切断後はすぐに調べて下さい。どんな木も切断したまま時間が経過していくと枯れに向かうわけですから、最終的には切断面に塗った試薬で赤く変色します。切断面に試薬を塗ってすぐに赤色に反応する木や枝の場合は、危機的状态で、手をつけても助けることはできないと考えています。枝ごとに調べて、アセトアルデヒドの発生している枝の範囲を調べ、対処を行うかどうか、どの枝を切断するかを検討する目安にします。

木のかんたん検知液A

木の枯れの判断の目安の一つに！ お施主さんへの説明にも便利です。
木が枯れメカニズムに入った時に樹液の中に出るアセトアルデヒドに反応して赤く色が出ます。

使用目的: アルデヒド検出
成分: フクシン0.1%含有

〔必ずお読みください〕

- ・ここに示した使用方法による木の枝や幹の試験研究にのみお使いください。これ以外の使用法、あるいは、人や動物など生き物への使用は絶対にしないで下さい。
- ・衣服に試薬がついた場合は、取れにくくなりますので、衣服などに液がつかないようにご注意ください。
- ・万一、液が目や口に入った場合はすぐに洗い、必要ならお医者さんの診察をお受けください。

使用方法

- 1、チェックする木の枝の切断面を出す。
- 2、調べる木の幹、枝の樹液が出る部分を少しカットしてもよい。
- 3、そこに木のかんたん検知液Aを切断した面全体に滴下する。
- 4、滴下した面が赤く反応するかどうかを調べる。
- 5、判定は2分後に行う。
- 6、滴下してすぐに赤く変化する場合もある。
- 7、どんな枝も時間がたてば枯れメカニズムに入るので、必ず赤く反応してくるので2分という判定時間を目安にすること。

◎判定

(すぐに赤く反応した場合)

現在、その枝は、アセトアルデヒドが多量発生中です。

(2分後の判定で赤く反応していた場合)

赤く反応する時間が早ければ早いほど、枯れのメカニズムが進行中です。

(赤く反応しない場合)

アセトアルデヒドは発生していません。しかし、すでに枯れて樹液も出ない状態の場合は枯れていても赤くなりませんのでご注意ください。

◎対処

赤く反応するのは、アセトアルデヒドという木を枯らす揮発成分が発生しているからです。これが検知された枝を助けられれば奇跡的なケースになります。一部の枝だけを切除して木を助けるケース、あるいは多くの枝を調べても反応するようであれば、その木を助けることはできないケースというふうに私たちは判断の目安にしています。

◎ご注意

- 1、特に夏場の枯れの判断に活用します。平均気温が20℃以上の時期に特にお使いください。
- 2、枝の切断面には、切断後すぐに検知試薬を滴下してください。
- 3、液は衣服につかないようにご注意ください。
- 4、木のチェックのみにご使用ください。
- 5、人や動物には使用しないで下さい。
- 6、あくまで樹木健康判断目安のひとつの検査としてお使いください。